



★「国際ソロブチミスト神戸」の活動

中内 あけましておめでとうございます。

知事 おめでとうございます。中内さんは去年、国際ソロブチミスト神戸の新しい会長さんに就任されたそうですね。だいぶ長く活躍されているわけですか。

中内 はい、チャータード・メンバーとして十八年入っております。

知事 どういった活動をされているのですか。

中内 ソロブチミストとはラテン語で、ソロ・オブティマ——女性にとって最善のもの——という意味合いがございまして、一九二一年にカリフォルニア州で、女性達によって結成されたクラブでございます。

知事 一九二一年というと大正十年……？

中内 ちょうど六十七年前になりますね。日本で誕生してから二十七年くらい、「神戸」は四番目にできました古いクラブでございます。目的といいましたら人権の確立、特に女性の地位向上、それと奉仕、国際理解、世界友好に貢献するという大きなテーマがございます。たとえば県内でも、「玉津むつみの家」に陶芸窯を寄付したり、「明石学園」で月見の会・花見の会のお手伝いをしたり、いろいろと交流させていただいております。

●新春さわやか対談

貝原俊民 VS 中内安子

＜兵庫県知事＞

＜国際ソロブチミスト神戸会長＞

21世紀の
シンフォニーが
聴こえる

ロマンティック・イヤー・イン・'88

知事 メンバーは何人ぐらいいらっしゃるんですか。

中内 五十四名でございます。奥様にもメンバーになっていただきまして（笑）、心強く思っております。

知事 いや、まだまだ多くの新人ですから（笑）。会長さんとして、それだけのメンバーをまとめていかれるの大変ですね。

中内 歴代立派な会長さんがなっておられましたので、ほんとうに責任を感じております。

知事 今年辰年ですね。昇龍みたいに新会長さんには活躍していただかなければ……。ここでひとつ、抱負などを披露していただませんか（笑）。

★88、知事の抱負

中内 その前に、知事さんにまず（笑）、昨年はいろんなフォーラムとかシンポジウムをなさいましたね。

知事 一昨年、兵庫県第二十一世紀への計画をつくりましたが、去年国で第四次全国総合開発計画が決まりました、その中で、県が考えているいろいろな計画がどのように位置付けられるか、非常に大切な時期だったんです。おかげで、ほとんど全部が盛り込まれました。今年はその出た芽を大きく育てて行く年だと思ってるんですよ。中内 それに素敵なイベントがたくさんありますね。

知事 そうです。人づくりの関係で言いますと、全国高校総体があります。これには三万人ぐらいの選手役員が全国から集まって来られます。それと国民文化祭、これは第三回目になるんですけどね。

中内 文化祭っていいですよ、具体的にはどんなことをなさるんでしょうか。

知事 わかりやすく言えば文化の国体のようなものでして、全国持ち回りでやったら、いろんな文化がレベルアップできるし、国民の間に広がっていくんじゃないか、という考え方で始められたもので、東京で一回目が、熊本で昨年二回目が開かれたんです。

中内 それは知りませんでした。開催期間は…。

知事 十月二十二日から十一月三日までです。兵庫らしい国民文化祭とするため、国際性やフアッションナブルなカラーを出したいと思いますので、神戸の皆さんには大いにハッスルしていただきたいですね。

中内 ぜひ子供達を連れて行ってみたいと思います。

知事 それから、全国健康福祉祭が開催されることとなりまして、これは全国初めてのフェスティバルなんです。これは十月三十日から十一月二日まで開催します。

中内 北摂・丹波でもホロンビア'88が開かれますね。

知事 今は何でも東京に集中する傾向がありますね。しかしながら、私は逆に、地方の時代というのがある意味では新しく始まっているんじゃないかと思っています。と云うのは、価値観の多様化にもなって、働くことや、金儲けも大切ですが、より人間的な生活をするために、たとえば自然と親しんだり、人と人との触れ合いを楽しんだり、伝統文化や芸術を大切にしたいとかというように、経済以外にも素晴らしい大切なことがたくさんあるとみんなが考え出していますね。こうなると、この部分は東京よりもこっちの方がいいよ」って言えるものがいっぱい出てくるんですよ。そうした目で兵庫県を見た場合に、神戸は神戸、淡路は淡路、北摂・丹波は北摂・丹波で自分達の持っている個性豊かな存在価値を自信をもってアピールできるわけです。そしてそんなことが希少価値をもつものとして大事にされる時代になって来ているのじゃないか、という気がするんです。そこで、北摂・丹波の持つ素晴らしい自然環境を生かして、都市と農村が互いに手をつなぎながら交流できる田園文化都市を創ろうという先導的な試みを積極的にやってゆこうということで、「北摂・丹波の祭典」がこの四月十七日から十一月六日まで開かれます。

★躍動する国際社会

中内 すごく理想的なことで羨ましがられるんじゃないですか。他の府県から…。兵庫県っていうと、それぞれの地域の個性がございまして、ソロブチミストも県下に十ございまして、昨年「神戸」の会員がイギリスのクライスト・チャーチを訪ね、またあちらからも来ていただきました。

知事 そういう国際交流というのは、どの程度やっておられるのですか。

中内 そのときの状況によりますが、向こうでは「国際フレンドシップ・デイ」



というのを設けていらっしゃるのです、会員の中にも、かなり海外へ行ってくださる方はございます。

知事 全国的にみますとね、外国人の居住しておられる数は東京圏より近畿圏の方が多いんですよ。しかも特徴的なのは、近畿圏ではアジアの人が圧倒的に多いんですね。アジアは人口も多いし、経済活動も今後次第に世界の中心みたいなところになってくる。そうすると、国際的な責任を日本が果たさなければいけないという中で、この近畿の果たす役割、しかも兵庫県の持つ責任というのが非常に大きいと思うんです。だから、ソロプチミストの活動も貴重な存在になると思いますね。ぜひ頑張ってください。

中内 少しでもお役に立てたら嬉しいですね。

知事 当面している問題は、アジアの人が中心なんです、留学生問題ですね。円高で、向こうから来ている留学生が困っているんです。

中内 この間もおもしろい発想をなさっていらっしやいましたね。会社の寮が利用できないか、と。日本だけをとってみしても住宅事情は悪うございますからね。

知事 そうした物的な面と、もうひとつは接遇のシステムですね。たとえば、イギリスに留学したら、イギリスの文化について勉強する際、ボランティアの協会がありまして、いろんなプログラムが用意されているそうですね。そういうソフトの部分がとても大切だと思うんですよ。幸い一般の県民の中にも外国語のできる人はたくさんいらっしゃるし、国際ソロプチミストさんも……

中内 いいえ、いまだに英語のレッスンをしておりますんですけど、なかなか……(笑)。ほんとうに言葉の障害って大きいんです。学生時代の、英語の教育時間は長いんですけども、実際喋れる方って意外と少ないですね。だから、そういう教育をなさっていただけたらと(笑)、思うんですけども。

知事 そうですね。僕はある人から聞いてなるほどと思ったんですが、語学の勉強で一番大事なことは、自分が

何を言おうとするのが大切だ、と。だからね、一番いいのは、ラブレターを書くことだそうですね(笑)。

中内 おもしろい、そうですね(笑)。

知事 もう恋愛したらね、自分の想いをなんとか相手に伝えたい、書きたいっていうんで勉強するでしょう。

何といってもこれが一番、上達の早道そうですね(笑)。

中内 日本人はきつちりと通じる、正確な英語を喋ろうとするので喋れなくなっちゃうんですね。ですから、単語のつぎはぎでもいいから話すっていう、そんな……(笑)。

知事 そうなんですよ。だから、相手に伝えたいことを自分ではっきりもっていると、片言でも通じるものですね。

中内 私達も外国の方とお喋りする時、日本人がいたら喋れないですよ(笑)。

知事 みんなそうなんじゃないですか、ちよつと照れ臭くて(笑)、そういう傾向があるんでしょうねえ。

中内 昨春秋、海外へご旅行されたそうですね。

知事 去年の春、西オーストラリア州から淡路ファームパークにコアラをいただいたりして、答礼をしなければと考えていたのですが、設立されたばかりの兵庫・西オーストラリア協会が西オーストラリア州を訪問されるというので、いい機会だから県の各界の皆さんからなる友好訪問団を結成して親善訪問をしようということで、私も同行して行ってきました。私は初めての訪問でしたけど、ほんとうに美しく素晴らしい所ですね。

中内 ずいぶん自然に残っているんでしょうね。

知事 日本の七倍の広さで、人口は百五十万人ぐらいというんですから。ただ、自然保護に対する厳しさには感心しました。

中内 ええ。各家庭の庭の芝刈りをしていなかったら罰金があるとか聞きましたけど。

知事 州都であるパース市内をスワン川が流れてまして、その川の岸にずっと住宅があるんですけど、川の水質保全とか、水際線やそれと調和のとれた住宅の景観とか、そういうことについて大変な神経を使っていますね。

中内 飛行機から見ますととっても綺麗ですものね。赤い屋根で緑の芝生にプールがありましてね。でも、兵庫県でも、淡路島にリゾート構想があるとか……。

★淡路リゾート構想

知事 明石海峡に橋がかかるといふ計画がいよいよ進み出したでしょう。この橋はサンフランシスコのゴールデンゲート橋より五割くらい大きいんです。明石海峡自体がとてきれいな所ですから、これは世界的にも素晴らしい景観をほこれることになります。

中内 世界にPRできますよね。世界一つてことになるんですから(笑)。

知事 やっぱ世界一つていうのはすごいですよ(笑)。そこに人口十七万人ぐらいの淡路島があって、自然が大変豊かで、そのうえ関西国際空港も正面にできますし

ね。国際的にも脚光

を浴びてるんです。

素晴らしい自然環境の中で、家族あるいは友達同志でゆつたりと過ごしたいという人たちが増えてきてね、ご主人の経営

されているポートピアホテルも大変繁昌

してるわけでしょう(笑)。

中内 まあ(笑)。ライフサイクルが変わって来ましたがら

ね。趣味を増やして健康という……。

知事 瀬戸内海は氣候が温暖で、海が穏やかだから、ヨット

やサーフィンをやるのに適してるんですよ。これから淡路島や瀬戸内沿岸部は魅力を増していきます。中内 いいですね。私も一般ライセンスを持ってるんですよ。

知事 ほう、ぜひ一度乗せてください(笑)。ところで、中内さんのところは子供さん、大きいんですか。

★“人づくり”にかける思い

中内 大学生が二人と、高三が一人おります。

知事 今、人づくり、教育というのがいろいろ議論されていますでしょう。日本国内では、受験勉強ばかりしてね(笑)。その結果、果たして国際的に通用するような人材が育ってくるか、大きな問題になっているんですね。松山幸雄さんという人が「勉強のすすめ」という本を書いていました。勉強といっても、要するに受験勉強。これを縮小する運動をやって、ほんとうの人間教育、人間学習、そういうことをもっとやるべきではないかという内容で、とても考えさせられる本なんです。外国との比較を分りやすく記述してあっておもしろいですよ。

中内 この頃推薦制度が多くなりましたが、本来の学生生活がエンジョイできて、とてもいいですね。もうちょっと枠を広げていただけたら「勉強」にもつながって(笑)そして、たくましい「ひょうごっ子」たちが成長して、世界に通じる人となってくれましたら。

知事 これからの日本の産業は付加価値の高い製品をつくることにならなければなりません。そのためにはその基礎となる科学技術の研究開発についても世界的に通用するものをもたなければなりません。そこで兵庫県では、世界的な研究開発を進める西播磨テクノポリス計画を推進してるんです。私はこの頃つくづく思うんですが、私達は、過去の遺産を大事にするだけではなくて、自分達も、何か素晴らしいものを子孫に残すために、歴史の検証に耐えうるようなことをやらなければいけない。そして、いまがそうしなければならぬ時代だと、そんな感じがします。そして、それは兵庫のように「ゆとり」のあるところではできないと思いますね。(文責編集部)



21世紀の多機能型複合都市をめざして 多彩な魅力を生み出す街づくりを！

昨年（昭和62年）、神戸市は開港一二〇年を迎え、来年の市政一〇〇周年へ向けて今、各種のプロジェクトが動いている。昭和六十三年の年頭に当たって「'88翔く神戸——10のテーマ」として、この一年、神戸にとっての10の課題を追ってみた。

躍動するコンベンション都市

神戸市は現在、その都市づくりに三本の柱を掲げている。つまり、ファッション都市・コンベンション都市・国際スポーツ都市である。

コンベンション都市づくりは、昭和五十一年四月の神戸経済同友会の提言に始まる。ここでは、ファッション都市神戸にメッセ《見本市都市》を創設しよう——というのを唱い、①神戸の地域経済の発展をめざしてメッセを創設すべきである。②メッセの創造と運営をめざして神戸海上都市株式会社を設立すべきである。③神戸に「国際生活文化博覧会」を誘致すべきであるとの三つの具体的な提言がなされた。この中では国際展示場は五館が必要など大規模なコンベンション都市への提案が行われている。

これに対して神戸市が受けて立つかたちで、ポートピア'81（神戸ポートアイランド博覧会）が行われ、これと機を一つにして国際展示場・国際会議場・ホテルが完成、のちにアリーナとして神戸ポートアイランドホールも出来、コンベンション都市の五点セット（国際展示場

・国際会議場・ホテル・シアター・アリーナ）のうち、四点を描えるに至った。しかも、それがポートアイランドという一カ所にコンパクトに集まっているという利便性がセールスポイントとなり、神戸のコンベンションは大いに伸び、都市の賑わいにも大きく貢献している。

これからの課題としては、これらの基礎の上に、第二、第三の国際展示場の建設を急ぐ必要がある。国際展示場の数が増えれば、それがコンベンション関連のソフト会社の進出にもつながって来ると思われる。

さらに大規模な集客施設の必要性は衆目の一致するところである。少なくとも西日本の核として、これが一つあれば神戸の強力な魅力づくりが出来る。行政と民間との連携でぜひ実現して欲しいものである。

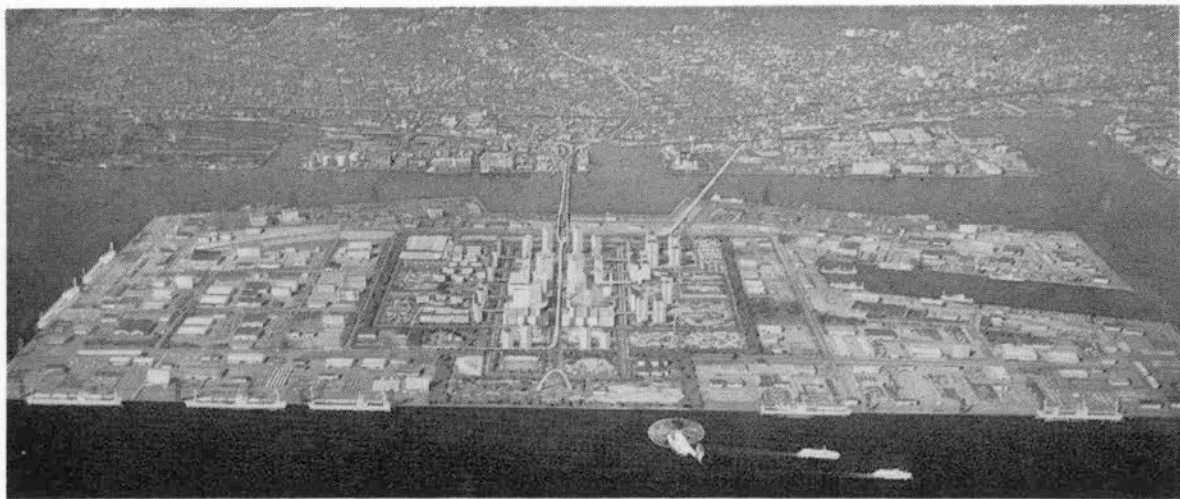
一方、今春オープン予定の神戸商工会議所会館もコンベンション施設の一つとしての利用が期待されている。

第二の海上文化都市——六甲アイランド

六甲アイランドは、甲子園球場の約一四五倍の広さに当たり、ポートアイランドに次ぐ海上文化都市である。

六甲アイランドは民間活力を導入した街づくりとしても注目を集め、昭和四十七年度から建設が始まり、六十五年度の完成をめざしている。将来的には、八千世帯、三万人の人口が貼りつき、神戸の経済的・社会的基盤を強化し、国際情報都市化を推進する一大拠点となること

が期待されている。



国際的なファッションマーケットセンターも出来る六甲アイランド（完成予想）

とくに都市機能ゾーンの整備に際しては、民間の自由な発想、創意工夫などを最大限に生かすために、民間企業による事業コンペ方式がとられ、事業主体として、住友信託銀行、積水ハウス、アーバンライフの三社と六甲アイランド開発が中心となって開発計画が着実に進んでいる。

六甲アイランドの「目玉」は、業務・商業ゾーンに建設される国際的なファッション流通市場（六甲アイランドマーケットセンター）である。これはアメリカ最大のディベロップターのトラメル・クロウ社との提携で、ファッションの大流通基地・見本市展示場が計画されている。これが完成すれば、単に日本だけではなく、アジアのファッション基地となろう。さらにホテル、グルメ基地、また魅力ある観光施設の整備が予定されている。

国内航空ネットワークの重要ポイント——神戸沖空港

現在計画されている神戸沖空港は、神戸を母都市とする神戸都市圏の航空利用者の利便を図り、関西新国際空港および大阪国際空港の補助空港として、主として中・近距離路線用の空港をめざしている。従って神戸沖空港は、兵庫県および神戸市が設置・管理する第三種空港であり、設置位置はポートアイランド沖で検討されている。規模としては、空港全体の面積は約一三〇ha。就航する航空機としては、中型ジェット機（定員二百～三百人程度）を中心に考えられ、二千mの滑走路が設置される。

この神戸沖空港は、国内主要都市との連絡に合わせて近畿圏内および兵庫県域のコミュニティ路線と国内主要路線との中継に利用でき、きめ細かい国内航空ネットワークの形成に貢献することが期待されている。

“知的文化の核” 神戸研究学園都市

理想の学園都市の誕生をめざして、西神地区で建設が進んでいるのが神戸研究学園都市である。

すでに神戸市外国語大学は移転オープンし、最新の設備や機器を導入し、海外テレビ放送の受信設備を設け、研究や授業で生きた外国語に接することが出来るようになっていく。

本年（昭和63年）四月には、流通科学大学が開校する。この大学は、ダイエーの中内切会長兼社長の尽力で実現するもので経済活動の中でますます重要な役割を担う流通業に深い理解をもつ人を育てるのが目的である。

さらに六十四年には、ファッション産業の発展に対応して神戸芸術工科大学（仮称）が開校、翌六十五年には兵庫県立神戸商科大学と神戸市立工業高等専門学校が移転して来る予定となっている。

神戸研究学園都市は、二十一世紀の神戸発展の核として期待される西神地区の知的文化の象徴といえる。

一方、西神地区では、すでに西神工業団地が稼働しているが、第二工業団地は神戸ハイテクパークとして、神戸の未来を担う先端技術産業を中心とした研究開発型産業の集積基地をめざしている。

さらに本年、兼ねてより建設が進められていた北神急行が完成、新神戸と谷上が短時間で結ばれる。これにより北神地区と市内中心部とのアクセスがぐんと良くなる。

ウォーターフロントの再開発——神戸ハーバーランド

神戸ハーバーランド計画は、「海につながる文化都市の創造」をテーマとし、元国鉄淡川貨物駅跡地を中心とした約20haの地域に、都市機能の再生・活性化を図り、将来の高度情報社会への対応をめざして「文化・情報・商業・業務・住宅・教育・福祉」など複合的諸機能の整備を目標とした新しい都市拠点づくりをめざしている。

このハーバーランド計画は、建設省による民活モデル事業の第一号に指定され、六十二年度には事業コンペ方式によって土地の譲渡が行われた。

この神戸ハーバーランド計画の基本方針は、(1)新しい

都市拠点の創造(2)複合・多機能都市としての整備(3)環境を活用した街づくり、つまりウォーターフロントを生かした街づくりをめざすということに整理できよう。

昭和六十七年には完成の予定で現在建設が進められている。

すでに80パーセントが稼働のファッショントウン

神戸のファッション都市づくりは、昭和四十八年に故・砂野 仁神戸商工会議所会頭が年頭の新年合同祝賀会でファッション都市づくりを提唱したことに始まる。

神戸ファッション・アソシエイション(KFA)をはじめ、それ以降、民間において様々なファッション関連グループが結成され、神戸の街づくりの中心をファッション関連産業が支えるようになった。神戸の場合、ファッションと言っても、単にアパレルのみではなく、ライフスタイルを提案する生活関連産業が、この間に着実に成長して来たと言える。

とくに、ファッション都市神戸の核として、ポートピア'81の跡地に建設されたファッショントウンのもつ意義は大きい。現在（昭和六十二年末）、ファッショントウンでは、アパレル・和洋菓子・宝飾品など31業種38社の進出が決定、28社がすでに稼働している。

昭和六十四年秋にはグラランドオープンが予定されている。また、このときには京阪神三都市の商工会議所が中心となって「世界ファッションフェア」(WFF)も予定され、ファッション都市づくりをめざして来た神戸も大いに前向きに取り組み、神戸が世界へ向けてのファッションの情報発信基地となることを期待したい。

学際的な「神戸学」へのアプローチ

文化関係に目を転じると、一つは、市立の美術館の必要性が挙げられよう。市は文化行政にもっと投資をすべきであろう。

さらに小誌は昨年の新年号で「神戸学」の必要性を提



ポートアイランド（第2期工事後）の沖に建設が予定されている神戸空港（完成予想）。左下にはハーバーランドが見える。

唱した。神戸をテーマに学際的な立場から様々なアプローチを試みることに前向きに取り組んで行くこと。この提唱は幸い各方面から大きな反響を得た。現在、各都市で、都市学が熱い期待をもって研究推進されているが、神戸学も遅れを取れない。様々な分野から神戸学のテーマを広く募集し、それに対して地元の企業がバックアップをするスポンサードシステムの確立が望まれる。

ユニバシアードの次はフェスピック神戸大会

神戸では、昭和六十年にユニバシアード神戸大会が西神地区で行われたが、これを機に国際スポーツ都市づくりが新たに提唱された。

本年三月には念願の神戸市立の野球場（グリーンスタジアム神戸）が完成する。この野球場は、甲子園球場より一回り大きく、まさに大リーグ並みのプレイが楽しめる。プロ野球などの各種試合の誘致も積極的に行われ、神戸総合運動公園の「顔」となることが期待されている。

一方、昭和六十四年の九月十五日から二十日まで、フェスピック神戸大会（第五回極東・南太平洋身体障害者スポーツ大会）が開かれる。すでに参加申し込み国は過去最多となっている。

神戸市は福祉都市づくりを積極的に進めているが、この大会によって、都市施設の整備を進め、障害者の住みやすい街づくりを推進し、障害者問題についての理解と認識がさらに深まることを期待したい。

今年はホテルラッシュの年

今年は神戸にとってはホテルラッシュとなりそうだ。春にはポートアイランドに神戸ポートピアホテル南館、メリケンパークにホテルオークラ神戸、そして秋には新神戸駅前に新神戸オリエンタルホテルが完成する。とくに新神戸オリエンタルホテルには劇場が併設され、ここから様々な文化的な情報発信が行われることが期待され

る。

神戸市への観光客（入込者数）は、昭和六十年においてすでに二十万人に達した。現在神戸市では市全体を四つの観光群、すなわち北野・異人館・旧居留地・港・ポートアイランドの都市観光群、六甲・有馬観光群、須磨・舞子などの海浜観光群、農業公園などの農村観光群に分け、相互のネットワーク化により魅力の向上を図っている。

とくに昨年七月にオープンした須磨海浜水族園は、世界最大級の規模・展示内容を持ち、須磨海浜観光群の中心施設として話題を呼んでいる。

建設が順調に進む明石海峡大橋

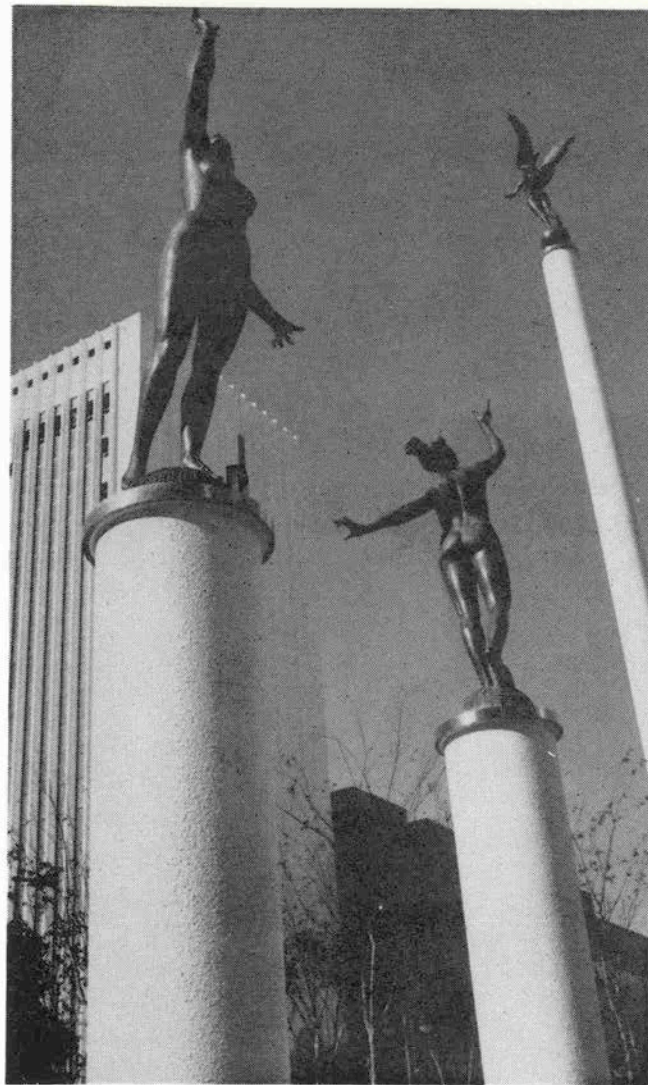
神戸市を中心とした交通体系を考える上で、明石海峡大橋は、都市間幹線道路として重要な位置を占める。

明石海峡大橋は、昭和六十年六月に完成した大鳴門橋によって四国と結ばれた淡路島と本州とを結ぶ橋である。これが完成すると阪神・四国間を最短距離で連絡できる。

明石海峡大橋は、当初は鉄道・道路併用橋として計画されていたが、六十年八月に道路単独橋に計画が変更され、六十一年四月に起工式が行われた。完成は七十二年度を見込んでいる。

以上見たように、神戸市が21世紀に向けて強力に推進して行くべきプロジェクトは多彩である。この他にも、第二新神戸トンネルなどの交通体系の整備、臨海開発、既成市街地開発など大小幾多のプロジェクトがある。現在では都市間競争の時代である。国際文化都市として生き抜くための様々な方策を官民で推進する必要がある。

（文責／編集部）



昭和64年にグラウンドオープンが予定されているファッションタウン

ハーパーランドの玄主にふさわし

■問い合わせ／神戸市役所都市計画課
TEL 331-8181

の 見 本 市 キム ち、 冷 麵 等 の 食 品

完成したRC3
アイ六進む設が建

★KOBEOフィスレディ★



加藤 純子さん (24)



テープカットする左より岩村宮崎、松下、貝原、石野各氏
レ た わ で 広 前

★太陽神戸銀行

本社ビルオープン!!

旧居留地内で、ひととき
目立つ白亜のビルが太陽神
戸銀行本社。地上18階、地
下2階(高さ86・5m)の同
ビルの完成を祝ってのオー
ブニングセレモニーが11月
24日(火)、同ビル正面玄関

21世紀に向けてグレーター神戸の大プランを持つべきだ

大規模集客施設の建設に期待

■座談会出席者（敬称略）

柏井 健 一 △柏井紙業㈱・代表取締役▽

木口 衛 △㈱ワールド・取締役会長▽

中内 力 △㈱神戸ポートピアホテル・取締役社長▽

昨年、昭和62年は神戸開港120年、そして昭和64年には市制100周年を迎える神戸。

全国に魁けて、ファッション都市を宣言した神戸は、ますます内容充実。ポートアイランドのファッショントウンも着々と建設が行われ、日本のファッションの拠点として羽博こうとしている。また、六甲アイランドの街づくりも着々と進められ、一方ではウォーター・フロント再開発の一環としてのメリケンパークやハーバーランド計画の進捗もめざましいものがある。

また同時にコンベンション都市づくりも、いよいよ、第二の展示場づくりが進められようとしている。

そして、また期待と注目を集めるのが「大規模集客施設」である。特に神戸商工会議所では「集客産業振興特別委員会」が設置され、大規模集客施設の検討や研究などが積極的に進められつつあるという。

こういった神戸がいま直面する問題、そして今にが大事なのか、新しい年の神戸の方向などについて放談を

お願いした。

世界でも通用する観光ポイントを創るべきだ

——昭和64年は神戸、大阪、京都などそれぞれの街が市制100周年を迎えることになるわけですが、特に神戸はいよいよポートアイランドのファッショントウンが完成します。また、コンベンション都市づくりも国際展示場の第二号館が計画されるなど新しい段階に入っていくと思われれます。また「大規模集客施設」などの計画についてもマスコミを賑わしているようですが——

柏井 「神戸ワールド」に関しては、どうも名前ばかりが有名になっているようですが、具体的な構想はまだ煮詰っていないんです。けれども、そういう大規模集客施設の必要性については、官民共に認めていますし積極的な気持ちも持っている。

ただ、こういう施設を作るにしても、神戸の中だけで完結するものであってはいけません。京阪神の中で認知さ

れ、一緒にあって育ててもらうものでなければならぬ。
今、東京中心主義の弊害が、政治をはじめいろいろな所で噴出してきている。竹下首相も言っているように、列島の中でいけば機能分担を真剣に考えねばならない時期にきていると思う。そういう論議の中で、今関西がクローズアップされているわけです。関西も京阪神の3拠点力が合わせれば相当な力を出せますからね。しか



柏井 健一 さん



木口 衛 さん



中内 力 さん

し、今の京阪神を見ていると、どうもバラバラでまとまりがない。それぞれ独自の街作りをしているんだけど、自分の中だけで完結してしまっていて他とつながらないわけです。その意味でも、今後の構想は神戸の中だけじゃなく、全近畿、全関西を射程に入れたものにすべきですよ。

中内 その通りですね。今の近畿は京阪神3都市間の調整が全くきいていない。コンベンション都市構想にしても、言い出したのは神戸だけれども、今は京都も大阪もそういう機能を持っている。同じ圏内に同じ機能が3つあっても仕方ないですよ。

コンベンションに関して言えば、今は後発の大阪、京都が追い上げてますね。京都は日本を代表する歴史都市だから海外の人氣は高いし、大阪もかなり力を入れて施設を充実させてきて、コンベンション都市間競争の時代に入ってきましたね。

木口 問題は京阪神の情報がつながっていないからでしょうね。

柏井 3都市がそれぞれ東京と結ぼうとしているからですよ。これじゃいつまでたっても東京の属国、いや属都市ですよ(笑)。

それから、神戸は非常にまとまりがよく一本にまとまっています、大阪などはなかなかそうはいかないようですね。

—— そうですね、たしかに神戸はまとまりがいい。

「神戸ワールド」構想については、場所的にはどこが考えられますか。

中内 新関西空港との海上アクセスを考えるとやはり臨海がいいですね。水族園や港の観光などへの海上航路も考えられますからね。そういった周辺とのつながりも作りながら、国際的に認知される観光資源にしていくべきです。神戸には現在でもいろいろな観光資源があります。「神戸ワールド」の完成で一挙に国際観光都市へとレベルアップすべきです。

海外から日本へ来る人が神戸にも流れるようにしたい。そのために、国際的に認知される観光資源を作ること、そしてアクセスを充実させることですね。

柏井 それから、コンベンション都市を目指すならば、その機能の中で欠くことのできない本格的なシアターがぜひ必要ですね。せめて二千人ぐらい入れるものが欲しい。国際交流会館など今あるのはせいぜい七百人ぐらいでしょう。本当は七百人程度の規模のものはオーデトリウムなんです。本格的なシアターというのはもっと客席数も多くて、客席スペースと同じぐらいの広さの舞台があるものなんです。アメリカのシアターなんか日本のは全然規模が違う。同じ作るなら、そういう本格的なものが欲しい。国際会館にしてもシアターまではいかないしね。

木口 まあ、リっぱな劇場ですがね。しかし、もう一つは本格的なものがポートアイランドに欲しい。

柏井 我々が要望するのは、関西のコンベンション機能をポートアイランドに集中することなんです。CAT（関西国際空港海上アクセス）を作ってね。

中内 最近では海外旅行へ行く場合でも、車で空港まで行って、帰りはまた車で帰って来るという人が多いですから、広い駐車場を持ったCATは絶対必要ですね。

柏井 そのために、例えばコンテナなどは六甲アイランドに集中させればいい。機能、施設を分担することです。

中内 それから、関西新空港との連絡の問題。船を降りてから、どうしてターミナルビルまで行くかです。

—— 先ほど、近畿3都市の役割分担の話が出ましたが、具体的にはどういう形が理想的でしょう。

柏井 ファッションとコンベンションは神戸にまかせて、大阪と京都が別のところに力を入れればいいんです。中内 例えば、同じファッションでもハイカラの神戸は洋装で、伝統の京都は和装とかね。

木口 機能分担という話はずい分前から言われていま

すが、しかし実際は口ばかりが先行して何も決まっていない。具体的にきちんと決めることがまず先決だと思いますね。ただ一方では、それぞれの街は完結した機能を持ちながら連帯するべきだという論議もあります。

柏井 今神戸に必要なのは、第一にコンベンション機能の集中、第二にCATなどアクセスの充実です。

中内 観光資源に関しては、新しいものを作ることも大事ですが、今あるものをネットワークすることも必要だと思う。今のようになっている状態では利用しにくくしてやうがない。もっと観光客の身になって作っていくべきです。とりあえず点から線の開発ですね。

例えば、ただホテルを作るだけじゃなく、ホテルからメリケンパークや水族園、あるいはワイン場にも行けるバスの路線を作るとかね。現在交通局のご協力で一部稼動していますが。新幹線からポートライナーへのアクセスにしても、神戸の人は良く知っていますが、外から来る人にはわかりにくい。

全日本から誘客をはかるには、アクセスの問題は絶対に不可欠です。

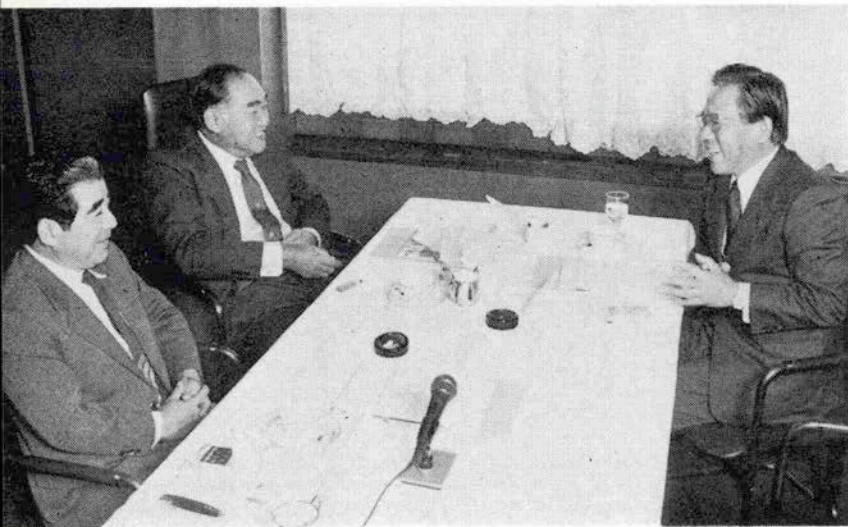
柏井 新幹線から地下鉄で乗換えしないとポートライナーに乗れない。ポートアイランドまでタクシーを使うにしても、外からの人にはどれぐらい料金がかるのかわからないしね。

木口 料金だけじゃない。時間もかかります。

柏井 ぜひ、ポートライナーでポートアイランドと新幹線を直結して欲しい。

意外性を演出するパフォーマンス都市に

木口 市制100周年を迎える64年で一応ポートアイランドが完成するわけなんです。この記念の意味も含めて、その年にワールド・ファッション・フェア(WFF)という大規模なファッションイベントを京阪神でやることになっています。これをきっかけに、神戸コレクションをもっと世界的なものにしたいというのが狙いなんです。



が、一つの時代の区切りの意味で力を入れてやれば、かなり大きな活性化のチャンスになると思います。

そういうことが可能なのも、神戸は他の都市に比べていろんなアイデアを実現しうる風土を持っているからだと思う。派閥とかがあまりなくて、すぐにみんなが一本になれるんですね。大阪や京都は派閥があつてなかなかまとまりにくい。だから外部の人は、神戸で何かやるというと、「今度は何を始めるのかな」ってすごく注目しますよ。それだけ影響力がある。

中内 そう、スピードもあるしね。一つには、歴史の浅さが武器になっていると思う。あまり歴史にとらわれずに、みんなが自由に発言して行動できる。これが神戸ら

しさですよ。

木口 何かやろうとする時、誰も「やめておけ」なんて言わない。みんなやる気になって一丸となつてやる。

—— そんな神戸の中で、今後どんな施設が必要でしょう。

中内 レジャーでも今後は滞在型のレジャーを考えるべきですね。それも交通費を使つて来てもらうんだから泊りやなく4、5日かけるものをね。それには、それだけ過こせるような観光施設を作ること。それから神戸内の各施設間をネットワークしたり、滞在中に京都や奈良や姫路にも行けるように市外へのコースを設定することにも必要になる。

木口 今はお金が残りますからね。あとはレジャーしかないですよ。その点神戸はイメージがいいから、レジャーにはもってこいです。

柏井 ただ、国内的にはイメージが強いんだけど国際的にはまだまだですよ。

中内 これからの街づくりの一つのテーマは、パフォーマンス性だと思う。今は何でも計画的に作って、作ったものは完全に管理してしまう。

しかしそればかりだと面白くない。一定のゾーンを自由に使わせるという発想が必要だと思う。原宿がうけるのは、いつ、何をやっているかわからない非計画性、意外性があるからなんです。神戸は北野でさえも管理されている。

例えば市民広場を土、日ぐらいは、迷惑さえかけなければそこで何をやってもいいように開放してみたらどうでしょう。大道芸人が何かやっていると、モンマルトルみたいに日曜画家が絵を描いているとかね。

木口 そういう意外性をもたせることが、若者を集める最大のポイントですね。

中内 タイペイに行った時に驚いたんですが、向こうでは広い道路の500mぐらいの間隔を遮断して、路上で商売してるんです。店もなければ屋台もない。靴下なんか地

面にじかに並べて売ってるんですよ。

木口 日本でも青山の通りなんかネクタイをしめて歩いてたら恥しいですよ(笑)。みんな思い思いのファッションをしていて、それがあたりまえになってますからね。見るだけで楽しいですよ。

柏井 そう言えば、丸の内なんかでも昼間車を遮断して店を出している日がありますね。昼間なのに夜店みたいな感じだね。

—— 最近はどこでも街の演出を考えていますね。もう街は舞台ですよ。

中内 そういった意外性がないと、はっきりした目的を持って来る人以外は来ないですよ。

木口 神戸にはそういう意外性が少ないですね。東京の青山や大阪のアメリカ村に匹敵するものがね。

柏井 東遊園地などもっと利用できるんじゃないですか。

—— 昔、小誌主催でバザールをしたことがありました。一週間ぐらいの期間でしたが。

柏井 工夫次第でできる場所はあるはずです。トアロードはどうですか。ちょっと狭いかなあ。

木口 とにかく街を盛り上げるには若者をひきつけなきゃだめです。その点、今度完成する東急ハンズは面白そうですね。かなり若者にアピールするものがあるんじゃないですか。

柏井 そうですね。あの周辺を解放するのもいい。

木口 ところで、街の活性化には景観を美しくすることもあるポイントだと思いますが、ポートアイランドの高層マンションなんかペランダに花を並べればきっと素晴らしい景観になると思う。洗たく物じゃなくてね(笑)。中内 アメリカの高級住宅街なんか、自分の庭の芝生でもまるで公共的な意識をもって手入れしている。それに景観の邪魔になる柵なんかほっとしないでしょ。

木口 日本人はどうしてすぐに柵を作りたいがるんでしょうね。これだけ治安がいいのにね。そういう問題も各街

の理事会は考えて欲しい。

柏井 緑は他の都市に比べて多いが、花はまだまだです。こういうことは市民主導でやらないとね。

木口 先日、カナダへ行ってきたんですが、ビクトリアはいろんな花が咲き乱れていて美しいし、バンクーバーでは港に水上飛行機が入って来るんですよ。これも実に絵になる。

中内 神戸にも観光用ヘリコプターなども飛ばしたいですね。

—— 神戸港沖空港はどうお考えですか。

柏井 ポートアイランドももともとは空港構想の中で生まれたものだし、長期的に考えてぜひ実現したい。現在の伊丹空港とはまた別の性格のものとしてね。

—— しめくくりとして、冒頭でもおうかがいした「神戸ワールド」も含めて、今後の神戸の大規模集客産業の展望はいかがですか。

柏井 将来的には、「神戸ワールド」はウォーターフロントに絶対が必要です。中味はまだ未知数ですが、神戸の「水」のいいイメージを生かして作りたい。全関西の目玉としてね。

中内 アメリカがデイズニールランドやエッグコットセンターで成功しているように、「神戸ワールド」を世界に誇れる観光施設にしたいですね。

柏井 神戸を滞在型のレジャー都市にするには不可欠ですね。それに完成すれば、就業機会も増えますしね。

木口 「神戸ワールド」はけっして夢じゃない。実現すれば、経済文化への波及効果は計り知れない。これは神戸にかつてなかった巨大構想ですよ。

そして、これからの計画が神戸全体の大きなプランの中で生かされるように考えるべきだと思います。

—— どうもありがとうございました。

(ブランドウプランにて)

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町 6-3-2
TEL (078) 302-3321

株式会社オールスタイル総本社

取締役社長 川上 勉
神戸市中央区港島中町 6 丁目 5-1
TEL (078) 302-3311

